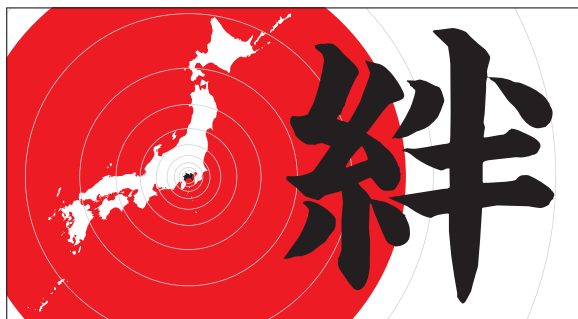


2011 KANAGAWA KIZUNA



かながわ 自民党の「約束」



森 正明 プロフィール

昭和36年7月12日生まれ
昭和59年 福岡大学卒業後、(株)フジタ入社
昭和63年 サッカー日本代表選出
平成6年 (株)湘南ベルマーレ平塚入団
平成11年 神奈川県議会議員 初当選(現在3期)

●自民党神奈川県連広報本部長 ●議会運営委員会(委員長) ●商工労働常任委員会 ●決算特別委員会 ●予算委員会(委員長) ●神奈川県サッカー協会副会長 ●日本体育協会・日本サッカー協会A級ライセンス取得 ●かながわアスリートネットワークメンバー

事務所 〒254-0811 平塚市八重咲町7-26 鶴巻ビル
TEL.0463-21-8655/FAX.0463-21-7711
HP <http://www.morimasaaki.net/> Mail masaaki@mc.scn-net.ne.jp

かながわ自民党ウェブサイト
www.kanagawa-jimin.jp

自由民主党神奈川県支部連合会
〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通18 KRCビル4F
Tel.045 (641) 8723 Fax.045 (661) 2036

平塚市 県議会議員



森 正明

正しく明るくフェアプレー



自由民主党神奈川県支部連合会

2011 かながわ自民党 の約束

私たちには創りあげたい神奈川がある…。

「かながわ自民党の約束」を通して

県民相互の絆を深め

自助・共助・公助の社会を実現します。

「かながわ自民党」は保守本流の

ローカルパーティーであるという

自覚と強い信念をもって行動し

自民党本部にも堂々と提言し

この神奈川から日本を守り

変えるため走り続けます。

すべては神奈川県民のために…。

① 教育	■ 未来を担う子ども達へ	4
② 財政	■ “ツケ”を次世代に廻すな!	5
③ 医療・福祉・介護	■ かながわ健康宣言!	6
	■ 幸せな長寿社会をめざして	8
④ 防犯・防災	■ 守ります! 私たちの街	9
⑤ 交通	■ スムーズかながわ!	10
⑥ 環境	■ クリーンかながわ!	14
⑦ 食	■ 新鮮・おいしい・神奈川ブランド!	14
⑧ 仕事・雇用	■ がんばる中小企業を応援します	15
⑨ 文化・スポーツ	■ 文化・スポーツのさらなる推進	15
⑩ 観光・経済	■ YOKOSOかながわ!	16
⑪ 県政	■ 身近な県議会をめざします!	18
	相談・緊急ダイヤル	19

絆

1

①教育

未来を担う 子ども達へ

○子育て環境の整備

家族の絆を大切にしたい子育て支援を実現するために、育児休業制度(0～3歳)を充実し所得補償や職場復帰できる社会環境を整えます。

○郷土愛を育み、真の国際人を育成

愛国心や郷土愛を育み、真の国際人を育てるために、神奈川県が全国に先駆けて実施する県立高校の日本史必修化を支援します。あわせて道德教育を再度充実させます。

○不登校・いじめ・暴力行為対策の強化

問題行動の早期発見・早期対応に努め、小中学校の連携、スクールカウンセラーなどを有効に活用し、子どもたちを守ります。

スクールカウンセラー：学校における様々な相談に応じる専門家

○児童虐待ゼロを目指します

児童虐待が急増しています。親子の絆を見つめ直し、虐待防止に向けた相談・通報・保護・シェルター整備など、取り組みの充実を図り、子どもたちの命と未来を守ります。

○障がいのある児童・生徒の教育環境の整備

障がいのある児童・生徒を地域や社会全体でしっかり支える仕組みをつくり、将来にわたり安心できる環境(スクールバスなどの整備)を整えます。

専門的な教育の充実、自立と社会参加に向けた「生きる力」の育成を目指します。



子ども・暮らしのホットライン
「相談・緊急ダイヤル」を19Pに掲載しました。

絆

2

②財政

“ツケ”を 次世代に廻すな!

○地方分権改革の推進

「地域のことは地域で決める」という自己決定、自己責任の原則に立ち、国・県・市町村の役割を明確にするとともに、広域自治体としての県の責務を明らかにし、さらなる地方分権改革を推進します。

○財政再建・健全化に向けた取り組みの充実

県財政が厳しさを増していく中、県民サービスを低下させることなく、行政効率の向上を図り、一層の行財政改革を推し進め、財政再建・健全化に向けた取り組みのさらなる充実に努めます。

○県民負担の軽減

将来世代の負担を軽減するため、県の借金である県債の発行抑制を図ります。

平成22年4月30日現在の県債残高は、実に3兆3,644億1,691万円であり、県民一人あたりの負担額、いわゆる借金は372,754円(前年同期比21,672円増)となっている。



かながわ 健康宣言!

○医師・看護師・介護士などの確保

短期研修医制度など有効に活用し、全国から有為な人材を研修医として迎え、神奈川の医療の底上げを図るとともに、院内保育・学童施設の整備充実を図るなど、医療・看護・介護・福祉人材の育成・確保に努めます。

○救急医療体制の充実

神奈川県では、ここ数年救急医療機関が減少し、救急患者の受け入れが難しくなっています。「たらい回し」が発生しないよう、救急医療体制の充実を図ります。さらに、NICU(新生児集中治療室)の整備を進め、周産期医療の充実に努め、神奈川の母子の生命と健康を守ります。

○最先端医療(重粒子線治療装置)の導入による「がん対策」

神奈川県民の死因の1位はがんであり、総死亡者の3分の1を占めています。そのために予防・検診体制を充実させ、県立がんセンターに最先端医療(重粒子線治療など)を導入するとともに、高額な治療費の患者負担を軽減します。さらには、緩和ケアの充実を図り、段階に応じた対策を進め、がんに負けない社会を目指します。



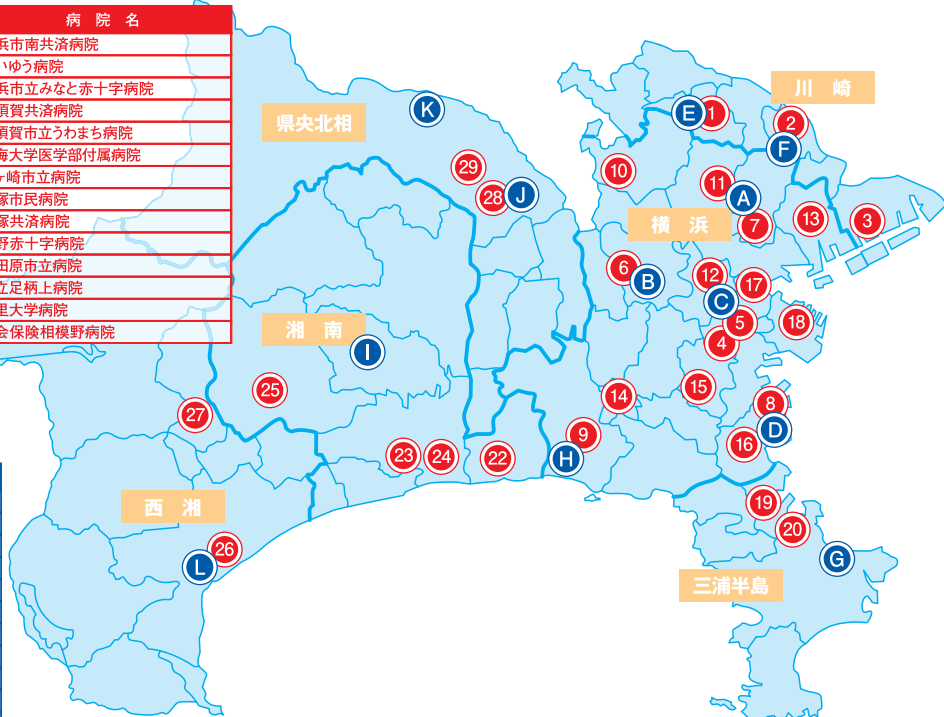
がんセンター施設整備イメージ図
県立がんセンターを平成25年11月に完成予定(重粒子線治療装置:平成26年に導入予定)。

●周産期救急医療システム参加病院

番号	地区	病院名	番号	地区	病院名	
1	川崎	聖マリアンナ医科大学	16	横浜	横浜市南共済病院	
2		日本医科武蔵小杉病院	17		けいゆう病院	
3		川崎市立川崎病院	18		横浜市立みなと赤十字病院	
4		県立こども医療センター	19		横須賀共済病院	
5	横浜	横浜市大市民総合医療センター	20	半三浦	横須賀市立うわまち病院	
6		聖マリアンナ横浜市西部病院	21		湘南	東海大学医学部付属病院
7		横浜労災病院	22			茅ヶ崎市立病院
8		横浜市大医学部付属病院	23	平塚市民病院		
9		藤沢市民病院	24	平塚共済病院		
10		昭和大学藤が丘病院	25	秦野赤十字病院		
11		昭和大学横浜市北部病院	26	西湘	小田原市立病院	
12		横浜市立市民病院	27		県立足柄上病院	
13		済生会横浜市東部病院	28		北相	北里大学病院
14		独立行政法人国立病院機構横浜医療センター	29	社会保険相模野病院		
15		済生会横浜市南部病院				

●がん診療連携拠点病院

番号	地区	病院名
A	横浜北部	独立行政法人労働者健康福祉機構横浜労災病院
B	横浜西部	神奈川県立がんセンター
C		横浜市立市民病院
D	横浜南部	公立大学法人横浜市立大学附属病院
E	川崎北部	聖マリアンナ医科大学病院
F	川崎南部	川崎市立井田病院
G	横須賀・三浦	国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院
H	湘南東部	藤沢市民病院
I	湘南西部	東海大学医学部附属病院
J	相模原	北里大学病院
K		神奈川県厚生農業組合連合会相模原協同病院
L	県西	小田原市立病院



絆

3

③医療・福祉・介護②

幸せな長寿社会をめざして

○新コミュニティを提案

神奈川県では、平成17年からの5年間で、一人暮らしのお年寄りの数は約3割も増加し、推定で29万3千世帯となっています。住み慣れた地域で生き生きと暮らせるように、気軽に集い、気軽に会話できる場づくりをさらに進めます。



○安心の地域社会を実現

高齢者を地域で見守り、地域での支え合いにより安心して暮らせる地域社会の構築を目指します。

○経験豊かなシルバー人材の活用支援

団塊世代の退職時期を迎え、高齢者が意欲を持って働くことができる社会の実現が急務です。経験豊かなシルバー人材の有効活用により、地域社会のニーズに応え、高齢者の活躍の場を創出します。



絆

4

④防犯・防災

守ります！ 私たちの街

○災害に強い神奈川県

神奈川県は、ゲリラ豪雨などによる土砂災害は全国ワースト2位(参考:砂防広報センター資料)であり、災害に強い街づくりが喫緊の課題です。大規模災害による被害の軽減をはかるため、都市基盤整備など防災対策に伴う公共事業は積極的に推進します。

○治安対策を強化

神奈川県では依然として振り込め詐欺、外国人犯罪や薬物犯罪が増加しています。このような犯罪をなくすため地域との連携を更に深め、未然防止に努めます。

また、警察官を増員し、県民が安全で安心な生活を送ることができるよう、治安対策を強化します。

◇人口比較(平成22年9月1日の推計)

神奈川県:約902万人(全国2位)

大阪府:約884万人(全国3位)

◇警察官1人当たりの負担人口

神奈川県:574人に対し1人(ワースト2位)

大阪府:410人に対し1人(ワースト5位)



スムーズ かながわ!

○交通ネットワークの整備により、暮らしの利便性が

社会経済活動を支える利便性の高い交通ネットワークを早期にの削減・観光客数の増加による経済活性化を目指します。また、生活を支えます。これらの整備については平成23年度から法人二

向上

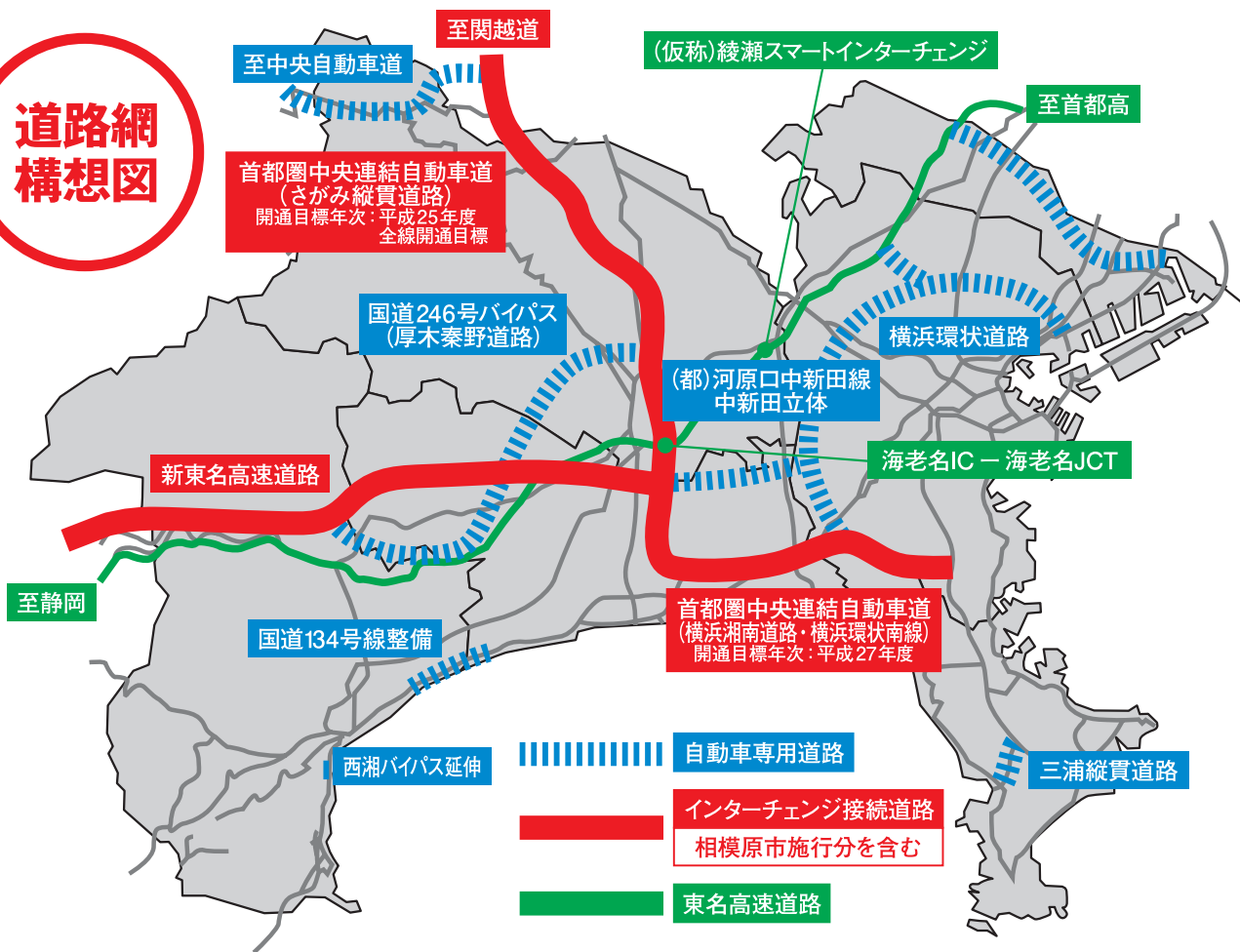
整備し、渋滞緩和による緊急車両の速やかな活動や物流コスト整備効果の高い道路(圏央道など)に重点的に投資し、県民生税の超過課税も取って充てることとし、早期の実現を目指します。

○圏央道延伸(中央自動車道・関越自動車道との接続)

による経済の活性化

■暮らしに役立つ交通ネットワークの整備

道路網 構想図



スムーズ かながわ!

— 交通ネットワークの整備が進むと —

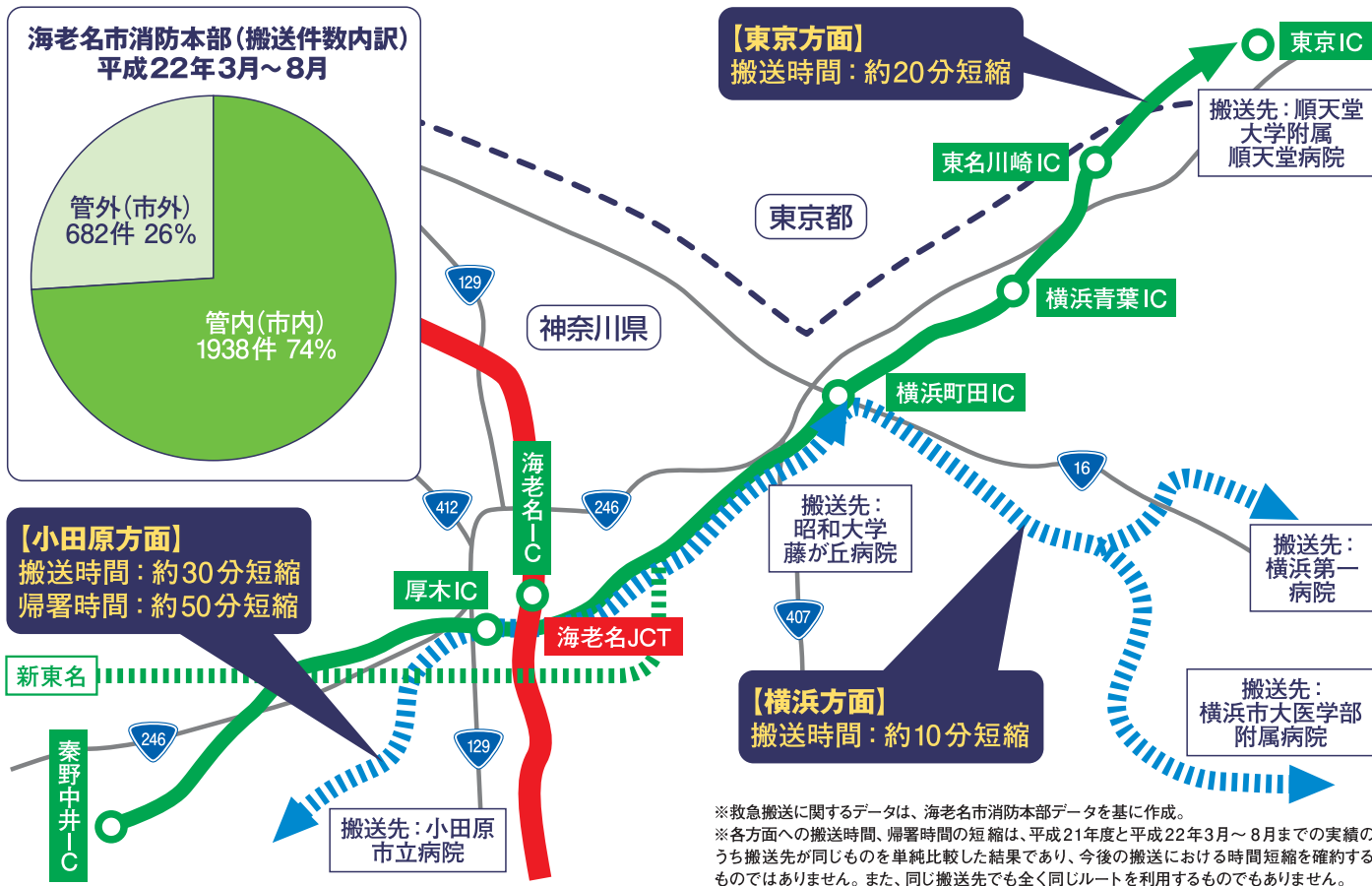
○海老名ICの開通による海老名市の救急搬送などにおける所要時間の短縮

海老名IC～海老名JCTの開通後、同区間を利用した救急搬送件数は11件あり、東京都内や横浜市内、小田原市内の病院への搬送でした。これらの搬送を開通前後で比較すると、東京方面で約20分、横浜方面で約10分、小田原方面で約30分短縮しており、患者の方々の早期治療に寄与しています。



2009年2月27日、県内で初となる圏央道の海老名IC～海老名ジャンクション間が開通。

■例えば、海老名市消防本部の救急搬送等における所要時間の短縮



絆6 クリーン かながわ

⑥環境

○みんなで取り組むエコ

一人ひとりが環境に配慮したライフスタイルを進めるよう意識啓発を行うことはもとより、太陽光発電や電気自動車の導入促進から、産業全体を巻き込んだCO₂削減策に至るまで、温室効果ガスの削減目標達成に向けた取組みを進め、豊かな地球、生態系を守っていきます。

○神奈川の緑を守る!

神奈川の緑と水を守るため、現在取り組んでいる丹沢大山自然再生計画の見直しを含め、さらなる自然再生に向けての着実な取組みを推進します。



絆7 新鮮・おいしい 神奈川ブランド!

⑦食

○都市近郊の農水産業経営を支援します

農家の担い手を育成するため、都市農業の利点を活かし食料自給率の向上を進めます。また、原産地表示の普及を図り、新鮮でおいしい神奈川ブランドの地産地消を推進します。また、税制面での支援などのほか、企業参入などを視野に入れた多様な担い手を確保する政策を推進します。

絆8 がんばる中小企業を 応援します

⑧仕事・雇用

○中小企業の支援

がんばる中小企業のために借りやすい制度融資を進め、再チャレンジ可能な経済環境をつくります。

○雇用の促進

雇用のミスマッチの解消に努めるとともに、人手不足が叫ばれている福祉分野の職業訓練を強化や、若年者の就業支援も進め、社会全体の需給バランスが取れるよう対策を講じます。

絆9 文化・スポーツの さらなる推進

⑨文化・スポーツ

○芸術・文化の継承普及

県民生活を豊かにし、潤いを与えてくれる神奈川に伝わる文化、民俗芸能の継承普及に努め、子どもたちをはじめ多くの県民が芸術・文化に触れる機会を数多く提供します。

○スポーツを身近に感じられる環境整備

県民一人ひとりが、それぞれの興味・関心、目的、体力や年齢、技能に応じた運動やスポーツを身近に親しむことができる環境づくりをさらに進めます。また、校庭の芝生化を併せて推進します。



YOKOS O かながわ!

○かながわウェルカムプロジェクト

羽田空港に現在計画中の第5滑走路を神奈川沖に誘致し、観あたって、インフラ整備を進め、近隣諸国との移動時間の短縮域の特性に応じた経済の活性化を目指します。フィルム・コミッリズムを世界に発信します。あわせて、地域の伝統文化や行事・

光振興の強化と物流拠点の整備を目指します。また、国際化にを目指します。さらに観光客と国際航空貨物の増加による、地ションの充実を促進し、観光振興施策と協調したシネマ・ツアー名産品などを観光資源として活かします。

○国に経済特区構想を提案

「京浜臨海部における環境・ライフサイエンスの国際競争拠点形研究開発機構が集積している地域の特性を活かし、羽田空港の目地区を中心に、我が国の成長を牽引する地域となることを目指

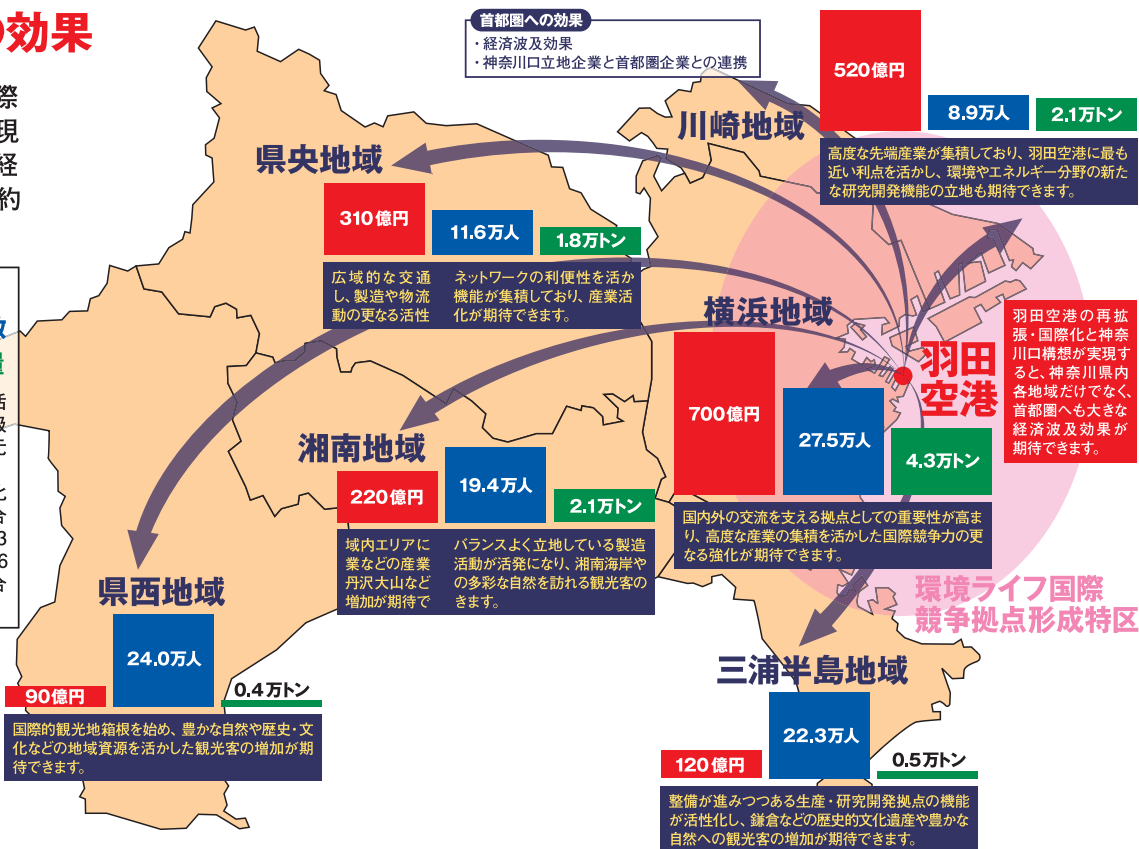
成特区」を国に共同(川崎・横浜・県)提案し、世界に誇る生産・24時間国際空港化を最大限活用し、隣接する川崎市の殿町3丁

■各地域への効果

羽田空港の再拡張・国際化と神奈川口構想の実現による神奈川県全体の経済波及効果は、年間約2,000億円になります。

経済波及効果
増加する観光客数
増加する国際航空貨物量

・効果の測定は、企業活動の活性化、観光客の増加、貨物取扱量の増加、雇用の増加などを元に行っています。
 ・効果の数値は、再拡張・国際化により増加する発着回数昼夜合計年間14.4万回のうち、昼間3万回、深夜早期3万回(合計6万回)を国際線に配分した場合の数値です。



絆

11

11 県政

身近な県議会を めざします!

○県民の声を常に県議会へ届けます

二元代表制の一翼を担う県議会として県側から示された予算や条例などをチェックするのみならず、常に県民の声を聞きながら県民の視点に立った議員提案条例を積極的に提案してまいります。

※この4年間で自民党が中心となって成立した議員提案条例
「商店街活性化条例・がん克服条例・議会基本条例」

○県民の声を形にするため、 更なる議会機能の強化をめざします

会期日数を年間約100日から約200日に増やしました。これにより、審議の充実や専決処分を少なくし、併せて議会機能の更なる強化を目指します。



神奈川県議会

自由民主党神奈川県議会議員団

Liberal Democratic Party of Kanagawa Prefectural Assembly All rights reserved

900万人神奈川県民の暮らしを守り

住んでよかったと実感できる

“**かながわ**”をつくります

自由民主党神奈川県議会議員団ウェブサイト

www.kanagawajimin.jp

※「かながわ自民党ウェブサイト」からアクセスも出来ます。

相談・緊急ダイヤル



子ども・暮らしの ホットライン

【子ども】

☐児童相談所(24時間、全国共通ダイヤル)

0570-064-000

(お近くの相談所につながります)

☐かながわ小児救急ダイヤル(18:00~22:00)

#8000

☐子ども・家庭110番(9:00~20:00)

0466-84-7000

☐かながわ子ども虐待ナイトライン(20:00~9:00)

0466-83-5500

☐子ども・女性を守る匿名通報ダイヤル
(県警委託団体:ガーディアンエンジェルス)

0120-924-839

(月~金 9:30~18:15/ホームページ <http://www.tokumei24.jp>)

【暮らし】

☐消費者ホットライン(国民生活センター)

0570-064-370

☐かながわ食の安全・安心相談ダイヤル(月~金:8:30~16:30)

045-210-4685

☐認知症疾患医療センター

(月~金 9:00~15:00)

0463-93-1121